



安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON



ベジシャス第8号 フォトクリップ

@JAしおさい 波崎青販部会

2011年7月26日

JAしおさい 波崎青販部会 高橋さん(42歳)
茨城県神栖市



茨城県は日本一のピーマン産地。茨城県神栖市波崎地区では、昭和42年に出荷組合を設立し、本格的な共同出荷が始まりました。当初は関東中心の出荷でしたが、長野、名古屋、北海道と出荷先を拡大してきました。

東日本大震災により、液状化によりハウスは傾き、地面は割れて水びたしになりました。

また、原発事故後の風評被害により、価格が低落するなど波崎地区のピーマンが受けた被害額は全体で6億円にも上ります。





↑葉の裏に害虫がいないかチェックします。



↑収穫後はトラックで持ち帰り、自宅隣の作業場で選果・箱詰をします。

親子2代でピーマンを栽培している高橋さん(42歳)は、農業を始めて20年以上のベテラン。以前はメロンも栽培していましたが、今はピーマンに全力投球です。平成15年度からJAしおさいの部会員全員が県からエコファーマー(持続性の高い農業生産方式)の認定を受け、消費者に「安心・安全・新鮮」をモットーとしたピーマン産地の維持発展に努めています。



震災後の低温障害や風評被害を乗り越え、ピーマンの出荷は順調です。

JAしおさい波崎青販部のサイトには産地の歴史やレシピなどの情報が満載です！
ぜひ、ご覧ください。<http://www.pman-hasaki.jp/>

バックナンバーも協議会サイトに掲載しています。
ぜひ、ご覧ください！
http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html